



東北運輸局 岩手運輸支局
支局長 藤原 博之

年頭の挨拶

あけましておめでとうございます。

平成28年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

高橋会長はじめ公益社団法人岩手県トラック協会会員の皆様には、日頃から国土交通行政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、貴協会におかれましては、輸送秩序確立、事故防止、環境保全活動に積極的に取り組み、公益性を持った活動を展開され、地域社会への貢献と業界の発展に尽力されておりますことに、改めて敬意を表する次第であります。

さて、トラック業界を取り巻く環境は、政府が持続的な経済成長を目指して「アベノミクス」を展開する中で、荷動きが回復基調と言われ、燃料価格も一時期に比べれば低い水準で推移しているところですが、一方で少子高齢化の流れの中、労働力不足が深刻な課題となっており、特にドライバーの不足は労働環境の問題にも関連し、大きな問題となっているほか、経営支出に関しては安全・環境対策等にかかるコストの増加への対応など、依然として厳しい状況が続いていると認識しております。

国土交通省では、長時間労働抑制実現に向けた「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」を中央及び各県に設置し、改善に向けた取組を始めるとともに、準中型免許等を活用した、若者と「トラガール」に代表される女性に対する就労促進策に加え、燃費の良い環境対応車への購入支援、車体課税の見直しにおける適切な対応等、トラック業界が抱える諸課題の解決に向けて取り組んでいるところです。

岩手県においても、経済情勢は、復興関連の公共投資や住宅投資の要因により「緩やかな回復傾向にある」と言われており、一般貨物運送事業者数も平成27年11月現在で759者14,269両と、震災以降、約50者1,000両の増加となって、復興の原動力となる物流の中心として重要な役割を担っていると思量するところです。

この中、残念なことにトラック事業の重大事故発生件数も増加しており、死亡事故件数は平成27年11月末現在で4件と大幅に増加し、非常に憂慮すべき事態となっております。

皆様におかれましては、需要の増加に伴い、事業の根幹であります「輸送の安全」がおろそかにならないよう、一人ひとりの安全意識の高揚に努め、引き続き、安全確保と事故防止にご尽力くださいますようお願い申し上げます。

岩手運輸支局といたしましても、「事業用自動車総合安全プラン2009」の取組の中で、岩手県においては平成27年「死者数と飲酒運転ゼロ」を目標に設定しておりましたが、この事態を受け、昨年は、岩手県貨物自動車運送適正化実施機関に対して「新規事業者への早期巡回指導及び乗務時間等告示違反事業者に対する巡回指導」を依頼する等、連携強化を図り、併せて適時適切な監査等、事業用自動車の安全対策の取組を強化し、より一層の安全確保が図られるように取り組んでいるところです。

今後も、「輸送の安全・安心の確保」を実現するため、「トラック輸送における取引環境・労働時間改善岩手県協議会」における労働環境改善の取組を進めるとともに、安全対策や事故防止、環境対策などの各種施策についても、貴協会をはじめ、関係機関・関係団体との連携を強化しながら、積極的に取り組んで参りますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

おわりに、公益社団法人岩手県トラック協会と会員皆様方の益々のご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。